

新潟県及び大分県における
高病原性鳥インフルエンザ発生等に伴う
庁内連絡会議(持ち回り)

時間：令和5年1月17日(火)

出席：知事

鳥インフルエンザ対策チーム

(副知事、農林水産部、生活環境部)

危機管理局

会議内容

- 1 新潟県での発生概要（国内59例目）
- 2 大分県での発生概要（国内60例目）
- 3 国内の鳥インフルエンザ発生、検出状況
- 4 国の対応
- 5 鳥取県の対応（家きん）
- 6 鳥取県の対応（野鳥及び愛玩鳥）

新潟県での発生概要(国内59例目、新潟県3例目)

1 農場の概要

農場所在地:新潟県上越市

飼養状況 :採卵鶏約10.5万羽

2 経緯

- ・1月12日(木)朝、農場から上越家畜保健衛生所に死亡羽数増加の連絡
- ・家畜保健衛生所の簡易検査により陽性を確認
- ・1月13日(金)遺伝子検査で陽性となり、同日午前8時に農林水産省が高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と判定

3 新潟県の対応

- ・1月13日(金)午前8時から、殺処分や汚染物品の埋却等の防疫措置を開始、15日(日)午後4時に殺処分終了
- ・移動制限区域の設定
- ・搬出制限区域の設定
- ・消毒ポイント2か所の設置 等

大分県での発生概要(国内60例目)

1 農場の概要

農場所在地:大分県佐伯市

飼養状況 :肉用鶏約1.3万羽 関連農場(2か所 4.3万羽)

2 経緯

- ・1月16日(月)午前10時に農場から豊後大野家畜保健衛生所に死亡羽数増加の連絡
- ・家畜保健衛生所の簡易検査により陽性を確認(6羽/13羽)
- ・1月17日(火)遺伝子検査で陽性となり、同日午前8時に農林水産省が高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と判定

3 大分県の対応

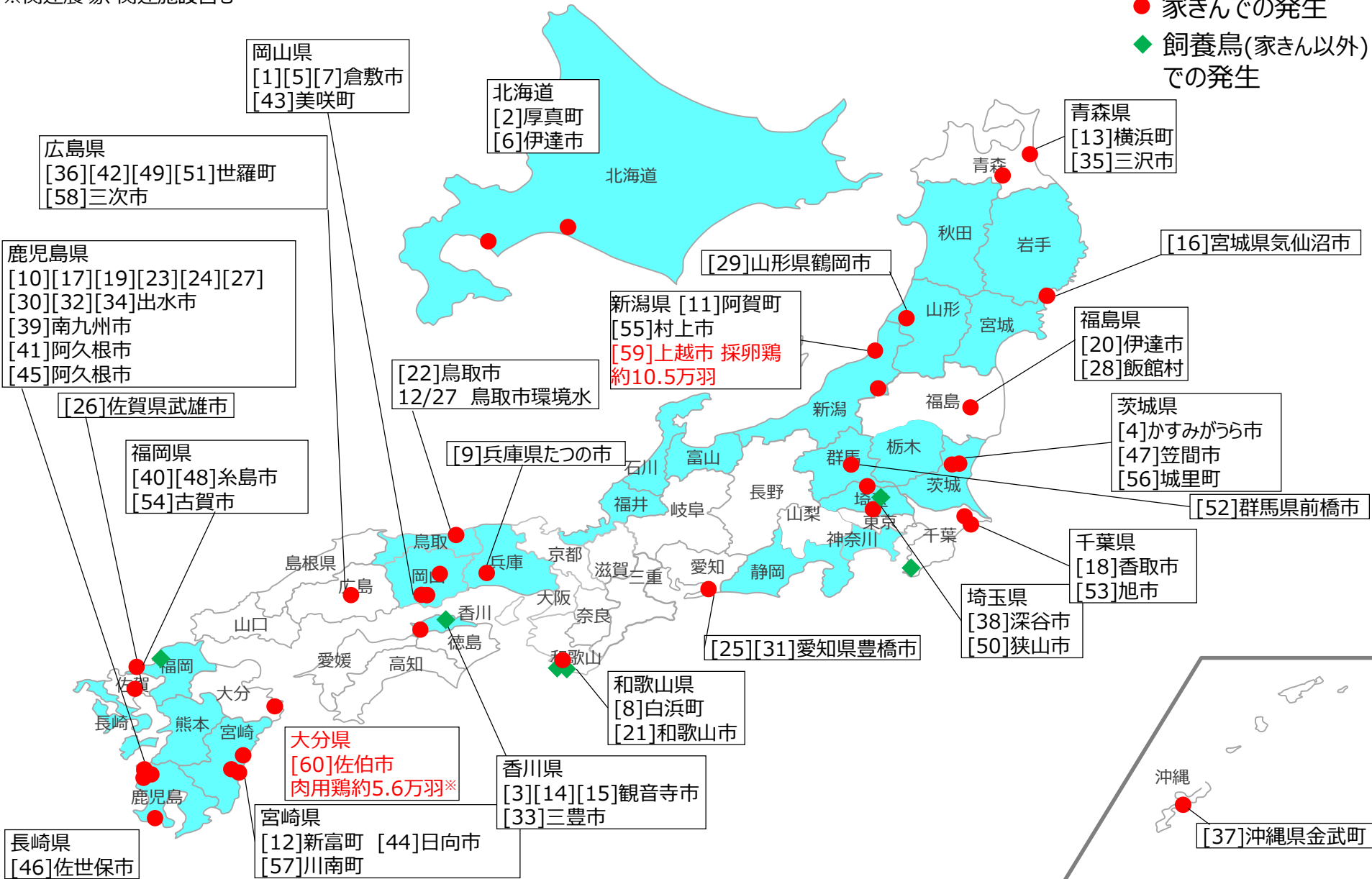
- ・1月17日(火)午前8時から殺処分や汚染物品の埋却等の防疫措置を開始
- ・移動制限区域の設定
- ・搬出制限区域の設定
- ・消毒ポイントの設置(7箇所) 等

国内における鳥インフルエンザ発生・検出状況

【国内の高病原性鳥インフルエンザ発生状況】令和5年1月17日現在

※関連農場、関連施設含む

- 野鳥での確認
- 家さんでの発生
- ◆ 飼養鳥(家さん以外)での発生



国内の鳥インフルエンザ発生状況(家きん1)

	発生地		種類	飼養羽数	発生日	防疫措置完了日 (殺処分完了日)	血清亜型	疫学関連
1	岡山県倉敷市	岡山1	採卵鶏	約17万羽	10/28	11/3	H5N1	
2	北海道厚真町	北海道1	肉用鶏	約17万羽	10/28	11/3	H5N1	
3	香川県観音寺市	香川1	採卵鶏	約4万羽	11/1	11/4	H5N1	
4	茨城県かすみがうら市		採卵鶏	約104万羽	11/4	11/22	H5N1	
5	岡山県倉敷市	岡山2	採卵鶏	約51万羽	11/4	11/18	H5N1	
6	北海道伊達市	北海道2	肉用鶏	約15万羽	11/7	11/13	H5N1	
7	岡山県倉敷市	岡山3	採卵鶏	約3万羽	11/11	11/18	H5N1	
8	和歌山県白浜町	和歌山1	あひる等	約60羽	11/11	11/12	H5N1	
9	兵庫県たつの市		採卵鶏	約4.4万羽	11/13	11/15	H5N1	
10	鹿児島県出水市	鹿児島1	採卵鶏	約12万羽	11/18	11/21	H5N1	
11	新潟県阿賀町		肉用鶏	約15万羽	11/18	11/24	H5N1	1施設約0.6万羽
12	宮崎県新富町		採卵鶏	約16万羽	11/20	11/22	H5N1	
13	青森県横浜町		肉用鶏	約12.2万羽	11/20	11/24	H5N1	1施設約0.8万羽
14	香川県観音寺市	香川2	肉用鶏	約2.4万羽	11/22	11/26	H5N1	1農場約0.9万羽
15	香川県観音寺市	香川3	採卵鶏	約1.4万羽	11/23	11/26	H5N1	2農場約2万羽
16	宮城県気仙沼市		肉用鶏	約2.1万羽	11/23	11/25	H5N1	
17	鹿児島県出水市	鹿児島2	採卵鶏	約7万羽	11/24	11/27	H5N1	1農場約0.8万羽
18	千葉県香取市		あひる等	21羽	11/26	11/26	H5N1	
19	鹿児島県出水市	鹿児島3	採卵鶏	約47万羽	11/27	12/8	H5N1	
20	福島県伊達市	初	肉用鶏	約1.7万羽	11/29	11/30	H5N1	
21	和歌山県和歌山市	和歌山1	採卵鶏	約4.6万羽	11/30	12/4	H5N1	
22	鳥取県鳥取市	初	採卵鶏	約11万羽	12/1	12/5	H5N1	
23	鹿児島県出水市	鹿児島4	採卵鶏	約12万羽	12/2	12/5	H5N1	
24	鹿児島県出水市	鹿児島5	採卵鶏	約3.4万羽	12/4	12/6	H5N1	
25	愛知県豊橋市		採卵鶏	約31万羽	12/5	12/15	H5N1	

国内の鳥インフルエンザ発生状況(家きん2)

	発生地		種類	飼養羽数	発生日	防疫措置完了日 (殺処分完了日)	血清亜型	疫学関連
26	佐賀県武雄市		採卵鶏	約3万羽	12/5	12/7	H5N1	
27	鹿児島県出水市	鹿児島6	採卵鶏	約6万羽	12/7	12/14	H5N1	
28	福島県飯館村	福島2	採卵鶏	約10万羽	12/7	12/11	H5N1	
29	山形県鶴岡市	初	採卵鶏	約2.7万羽	12/8	12/12	H5N1	1農場約4万羽
30	鹿児島県出水市	鹿児島7	採卵鶏	約6.3万羽	12/8	12/14	H5N1	
31	愛知県豊橋市	愛知2	あひる	約1千羽	12/8	12/9	H5N1	1農場約1千羽
32	鹿児島県出水市	鹿児島8	採卵鶏	約22万羽	12/9	12/14	H5N1	
33	香川県三豊市	香川4	採卵鶏	約8万羽	12/11	12/15	H5N1	
34	鹿児島県出水市	鹿児島9	採卵鶏	約2.2万羽	12/11	12/15	H5N1	1農場約7.4万羽
35	青森県三沢市	青森2	採卵鶏	約137万羽	12/15	12/30	H5N1	
36	広島県世羅町		採卵鶏	約12万羽	12/16	12/25	H5N1	
37	沖縄県金武町	初	採卵鶏	約4.5万羽	12/16	12/21	H5N1	
38	埼玉県深谷市	埼玉1	採卵鶏	約19.4万羽	12/17	12/23	H5N1	
39	鹿児島県南九州市	鹿児島10	採卵鶏	約3.5万羽	12/18	12/20	H5N1	
40	福岡県糸島市	福岡1	採卵鶏	約5.4万羽	12/19	12/27	H5N1	
41	鹿児島県阿久根市	鹿児島11	採卵鶏	約7万羽	12/19	12/24	H5N1	
42	広島県世羅町	広島2	採卵鶏	約18.7万羽	12/19	1/7	H5N1	
43	岡山県美咲町	岡山4	あひる	約2.3万羽	12/20	12/24	H5N1	
44	宮崎県日向市	宮崎2	肉用鶏	約5万羽	12/21	12/22	H5N1	1農場約10万羽
45	鹿児島県阿久根市	鹿児島12	肉用鶏	約3.7万羽	12/21	12/23	H5N1	
46	長崎県佐世保市	初	採卵鶏	約2.7万羽	12/22	12/24	H5N1	
47	茨城県笠間市	茨城2	採卵鶏	約11万羽	12/22	12/25	H5N1	
48	福岡県糸島市	福岡2	肉用鶏	約3.6万羽	12/26	12/27	H5N1	
49	広島県世羅町	広島3	採卵鶏	約12.7万羽	12/27	(1/4)	H5N1	
50	埼玉県狭山市	埼玉2	採卵鶏	約13万羽	12/30	1/4	H5N1	

国内の鳥インフルエンザ発生状況(家きん3)

	発生地		種類	飼養羽数	発生日	防疫措置完了日 (殺処分完了日)	血清亜型	疫学関連
51	広島県世羅町	広島4	採卵鶏	約29万羽	12/30	(1/8)	H5N1	
52	群馬県前橋市	初	採卵鶏	約1.5万羽	1/1	1/3	H5N1	
53	千葉県旭市	千葉2	採卵鶏	約1万羽	1/3	1/4	H5N1	
54	福岡県古賀市	福岡3	だちょう (エミュー)	約430羽	1/3	1/4	H5N1	
55	新潟県村上市	新潟2	採卵鶏	約130万羽	1/6	(1/16)	H5N1	
56	茨城県城里町	茨城3	採卵鶏	約93万羽	1/9	作業中	H5N1	
57	宮崎県川南町	宮崎3	採卵鶏	約10万羽	1/10	1/12	H5	
58	広島県三次市	広島5	採卵鶏	約83.5万羽	1/10	作業中	H5N1	
59	新潟県上越市	新潟3	採卵鶏	約10.5万羽	1/13	(1/15)	H5	
60	大分県佐伯市	大分1	肉用鶏	約1.3万羽	1/17	作業中	H5	2農場約4.3万羽

24道県 60事例 計1,107万羽

※過去最多

R2年シーズン(11月~3月) 18県52事例 約987万羽

国内の鳥インフルエンザ発生状況(野鳥)

<野鳥> 23道県 143事例

発生地	検体	回収日	確定日	血清亜型
北海道別海町,紋別市,札幌市(3),斜里町(5),網走市(2),帯広市,釧路市(2),中標津町,八雲町,浦幌町,むかわ町、七飯町,厚真町,函館市,浜頓別町,標茶町,千歳市	糞便,ハシブトガラス(9),オオセグロカモメ(2),マガモ,タンチョウ,オオハクチョウ(2),オジロワシ(4),ハヤブサ(2),オオワシ	10/8~12/28	10/17~1/6	H5N1,H5N2,H5
岩手県一関町	オオハクチョウ	12/9	11/25	H5
宮城県栗原市(2),石巻市,仙台市(3),名取市,気仙沼市(2)	マガン(2)、オオハクチョウ(2)、ノスリ(2),ハシブトガラス(2),ハヤブサ	10/4~12/14	10/7~12/21	H5N1,H5
秋田県大館市	オオハクチョウ	11/13	11/18	H5N1
山形県鶴岡市	コハクチョウ	11/16	11/18	H5N1
茨城県龍ヶ崎市(4), 那珂市	コバクチョウ(4), オオハクチョウ	12/8~ 1/6	12/14~ 1/16	H5
栃木県大田原市, 佐野市	オオハクチョウ, ハクチョウ	12/9, 1/3	12/16, 1/12	H5
群馬県館林市	オオハクチョウ	12/31	1/5	H5
埼玉県宮代町, 熊谷市	ハシブトガラス(3)	12/28, 1/5	1/4, 1/13	H5
神奈川県伊勢原市	ハヤブサ	9/25	9/29	H5N1
新潟県新潟市(2)、聖籠町、胎内市	ハヤブサ(2),ノスリ(2)	10/16~ 1/5	10/20~ 1/13	H5N1,H5
富山県射水市,富山市, 氷見市	コハクチョウ(2),ノスリ	11/26,29	11/30~ 1/12	H5N1,H5
石川県金沢市(2)	ハヤブサ,フクロウ	1/4,8	1/11,12	H5
福井県南越前町	ハヤブサ	10/11	10/14	H5N1
静岡県浜松市(3),磐田市	スズガモ,マガモ,オオタカ(2)	12/7~ 1/17	12/14~ 1/12	H5
兵庫県姫路市	ハヤブサ	11/16	11/22	H5N1
鳥取県鳥取市(2)	カワウ,環境試料(水)	12/3,12/20	12/8,12/27	H5
岡山県岡山市	ハシブトガラス	12/17	12/21	H5
香川県観音寺市,丸亀市,高松市(2),多度津町	ヒドリガモ,コウノトリ,コバクチョウ(3),アオサギ	11/7~12/20	11/11~12/23	H5N1,H5
福岡県糸島市, 古賀市	ハシブトガラス(4)	12/26, 1/3	1/4, 11	H5
長崎県諫早市(2)	ナベヅル(2)	11/25,28	11/30,12/6	H5
熊本県長洲町	クロツラヘラサギ	12/9	12/14	H5
宮崎県日向市,宮崎市(3)	マガモ, ハシブトガラス(2) ,糞便	11/6~ 1/9	11/11~ 1/16	H5N1,H5
鹿児島県出水市(74),阿久根市	ナベヅル(1123),マナヅル(50),オナガガモ,トビ,環境試料(水)(7)	11/1~12/26	11/7~ 1/13	H5N1,H5

国内の鳥インフルエンザ発生状況(飼養鳥)

<飼養鳥(家きん以外)> 5県 8事例

発生地	検体	回収日	確定日	血清亜型
埼玉県宮代町(3)	ヘビクイワシ、コブハクチョウ(3)	12/21,24	12/26,1/4	H5
千葉県館山市	コブハクチョウ	12/17	12/21	H5
和歌山県白浜町(2)	モモイロペリカン(5)、チリーフラミンゴ	11/13,12/4	11/18,12/9	H5N1,H5
香川県丸亀市	コブハクチョウ	11/7	11/10	H5N1
福岡県福岡市	コブハクチョウ	12/7	12/14	H5

国の対応

1 「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」開催

<1月9日大臣メッセージ>

- ・令和2年度シーズンを上回り過去最多。野鳥での発生が継続して、例年以上の頻度で確認されており、環境中のウイルス濃度が非常に高いと指摘されている。
- ・発生を予防するため、農場内での消毒の徹底をお願いする。また、各農場においては、改めて飼養衛生管理の取組状況の再確認をお願いし、改善箇所が見つかった場合はすぐに取り組んでいただきたい。
- ・国民に安定的に卵や鶏肉を供給する責務を果たしていくため、今まで以上にすべての関係者が強い意志を持って立ち向かっていただきたい。

2 防疫措置に関して発生県と緊密な連携を図る。

3 殺処分・焼埋却等の防疫措置を支援するため、農政局等から「緊急支援チーム」を必要に応じて発生県へ派遣

4 「疫学調査チーム」を派遣

5 全都道府県に対し、改めて注意喚起し、本病の早期発見及び早期通報並びに飼養衛生管理の徹底を指導

6 関係府省庁と十分連携を図りつつ、生産者、消費者、流通業者等への正確な情報の提供

鳥取県の対応(家きん)

- 1 各事例の発生確認毎に全78農場に対して注意喚起
- 2 養鶏場に異常がないことの聞き取り、各県の発生農場と県内農場は疫学関連なし
- 3 12月7日(水)に家畜伝染病予防法第30条に基づく消毒命令を行い、県内養鶏農場の緊急消毒を実施済
- 4 家畜保健衛生所が、78養鶏農場の鶏舎の確認(小動物侵入防止状況等)や防鳥ネットの再点検を実施
- 5 次の発生に備えての体制整備(実施済)
 - ・農場からの緊急通報への体制整備(家畜保健衛生所)
 - ・県内発生時の全庁連絡体制及び動員体制を確認(実施済)
 - ・協定締結先との連絡体制の再確認(実施済)
- 6 広島県に防疫資材の貸出し(殺処分用ドライアイス発生装置5台)

鳥取県の対応(野鳥)

野鳥監視ステージ3に加えて更なる野鳥サーベイランスを実施中

○野鳥監視

- ・環境省が、12/1から湖山池及び日光地区を中心とした周囲10km圏内で指定していた野鳥監視重点区域については、本日(1/17)24時にすべて解除予定
- ・鳥取県は引き続き、県内70か所の観測地点で野鳥監視を強化(2日に1回)
⇒1/16時点で、新たに異常な野鳥等は確認されていない

○糞便・環境水調査

- ・鳥取大学共同獣医学科山口教授の協力を得て、渡り鳥が多く飛来する湖沼等で糞便・環境水の調査を実施
- ・既存の調査地点(日光地区、東郷池、米子水鳥公園)に加え、中西部の養鶏場に近く野鳥が多く飛来する地点(天神川河口、佐陀川河口)で、調査を継続
⇒1/16時点で、日光地区(12/27)を除く地点では陽性は確認されていない

愛玩鳥等の飼育者への注意喚起

1 愛玩鳥の展示施設への注意喚起

- ・県内4施設に対して、鳥の糞便及び健康に異変があった場合には直ちに保健所まで相談するよう注意喚起中

2 愛玩鳥を飼育されている方への注意喚起

- ・動物取扱業者(10事業者)や学校関係者等へは保健所や関係部局を通じて情報提供と注意喚起中

＜注意喚起事項＞ 市町村・HPを通じて、飼育舎等へ注意喚起中

- ・放し飼いはやめ、エサ箱や水飲み場に野鳥や野生動物を近づけないようにしましょう。
(飼育鳥が、感染した野鳥や、その野鳥を補食した動物(猫、イタチ等)と接触することによる感染を防ぎましょう)
- ・飼育場所は、こまめに清掃と消毒を行きましょう。
- ・飼育小屋では専用の靴に履き替えるなど、飼育場所にウイルスを持ち込まないようにしましょう。

相談窓口

(24時間対応しています。)

■野鳥、愛玩鳥に関する相談窓口

緑豊かな自然課(野鳥)	0857-26-7979	(夜間休日 0857-26-7111)
くらしの安心推進課(愛玩鳥)	0857-26-7877	(")
中部総合事務所環境建築局	0858-23-3149	(夜間休日 0858-22-8141)
西部総合事務所環境建築局	0859-31-9628	(夜間休日 0859-34-6211)

■生産者の皆さんの相談窓口

鳥取家畜保健衛生所	0857-53-2240	(夜間休日は転送)
倉吉家畜保健衛生所	0858-26-3341	(")
西部家畜保健衛生所	0859-62-0140	(")

■食の安全に関する相談窓口

鳥取市保健所 生活安全課	0857-30-8552	(夜間休日 0857-22-8111)
中部総合事務所倉吉保健所	0858-23-3117	(夜間休日は転送)
西部総合事務所米子保健所	0859-31-9321	(夜間休日 0859-34-6211)

■人の健康に関する相談窓口

鳥取市保健所 保健医療課	0857-30-8532	(ガイダンス等により24時間対応可)
中部総合事務所倉吉保健所	0858-23-3145	(")
西部総合事務所米子保健所	0859-31-9317	(")

■平日夜間、休日、祝日相談窓口

防災当直	0857-26-8100
------	--------------

県民への情報提供

○関係機関等と連携を図り、正確な情報提供を実施

○ホームページ等でも野鳥等との接し方や異常な野鳥等の発見時の対応、愛玩鳥の飼育方法、食の安全についての相談窓口を周知し、県民からの相談に対応

※9/29～1/16 鳥インフルエンザ相談件数 130件(東部:62件、中部:26件、西部42件)

○県ホームページ「とりネット」の鳥インフルエンザの特設サイトにより、家きん、野鳥、愛玩鳥について総合的に情報提供 ⇒トップページの注目情報にもリンクを掲載

○鳥インフルエンザの感染拡大防止、鶏肉・鶏卵の安全について新聞広告、TVCMを実施

<鳥取県ホームページ「とりネット」>

知事のページ
記者会見、日誌、プロフィール

とっとり雪道Navi
「とっとり雪道Navi」で道路状況を確認！
ライブカメラで県内道路の積雪状況を確認できます。
→その他、「[雪に関する注意情報](#)」はこちらから

防災情報

鳥取県職員採用

注目・新着 報道提供資料 防災・救急

注目情報

2023年は「白」うさぎ年です！

高病原性鳥インフルエンザへの対応

死んだ野鳥を見つけたら

鳥取県
Tottori Prefecture Web Site

お問い合わせ 使い方 サイトマップ RSS

高病原性鳥インフルエンザへの対応

高病原性鳥インフルエンザに関する報道提供資料 (随時更新)

⇒高病原性鳥インフルエンザに関する鳥取県からの報道提供資料
※発生農場の防疫措置等の対応状況について、進捗状況を公表しています。

鳥取県の対応状況【対策本部会議】

「[高病原性鳥インフルエンザ 防疫対策本部会議](#)」(随時開催。会議資料を掲載しています)

鳥取県の対応状況【防疫対応の状況】(2022年12月16日 現在)

<防疫措置等の対応> (2022年12月16日現在)

- 発生農場の防疫措置(12月1日午前5時開始)
→12月5日(月)午後5時に防疫措置終了
(発生農場等における疑似患畜の殺処分、汚染物品の清掃・消毒等の対応)
- 殺処分の状況
→12月3日午後1時25分に終了
(殺処分羽数:105,505羽)
- 焼却の状況(12月1日午後7時開始)
鳥取市内の焼却施設で焼却
→12月14日(水)午前7時40分に終了
- 搬出制限区域の解除(12月16日午前0時)
- 消毒ポイント設置状況(12月16日午前0時以降)

県民の皆様へのメッセージ

■家きん卵、家きん肉を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染することは世界的に報告されていません。

■鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等の特殊な場合を除き、通常では人に感染しないと考えられていますが、県民の皆様には次のことをお願いします。

・野鳥を素手で触らないでください。

・野鳥や野鳥の排泄物に触れた場合は、手洗いやうがいをしてください。また、野鳥の排泄物を踏んだ時はウイルスが拡散しないよう靴裏を水などで洗浄してください。

・異常な野鳥や死亡又は衰弱した野鳥を見つけた時は、緑豊かな自然課、最寄りの県総合事務所環境建築局に連絡し、その指示に従ってください。

※異常な野鳥：首を傾けてふらついたり、首をのけぞらせて立っていられなくなるような神経症状、重度の結膜炎等を発症している野鳥

■隣県や県内の野鳥から鳥インフルエンザウイルスが検出されたからといって、直ちに家庭等で飼育している鳥が感染するということはありません。
清潔な状態で飼育し、ウイルスを運んでくる可能性がある野鳥と接触させないようにし、鳥の排泄物に触れた後には手洗いやうがいをお願いします。異常が見られた場合は、まずはかかりつけの獣医師に御相談ください。

■迅速で正確な情報提供を行ってまいりますので、根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いします。

鳥インフルエンザに関する御相談については、各対応窓口まで御連絡ください。